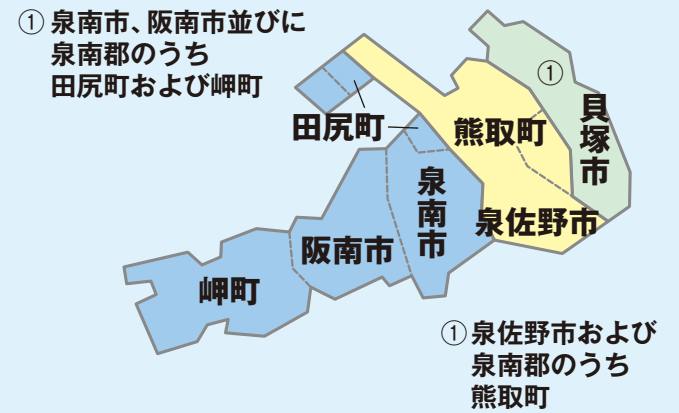


不公平な選挙区

田尻町・泉南市・阪南市・岬町 (146,638人) で **府議 1人**
 泉佐野市・熊取町 (145,870人) で **府議 1人**



来春の府議会議員の選挙区が「田尻町・泉南市・阪南市・岬町の2市2町で1人」に決定しました。府議定数は、私たち維新の会が手を付けるまで、10年以上もかかってやっと3名の削減※であったのが、人口10万人に府議1人とする維新の会の基本方針を貫き、109人を「880万人府民に88人の議員」とした、21人という大幅削減を実現させました。これは、選挙における府民との約束であり、改選直後に条例改正を断行しました。

しかし、維新が過半数を失ったこの3月に、選挙区の区割りにおいて、非常に不公平な区割り案が可決されてしまいました。

泉南地域、衆議院選挙区でいえば大阪19区ですが、貝塚市から岬町までの人口が38万人なのに府議は3人しか確保されない反面、別の地域では52万人で府議6人、あるいは43万人で府議5人など、非常に不公平な選挙区とされてしまいました。

土井達也議員は、この不公平解消のため、一票の格差のさらなる是正、地域代表制の順守、そして10万人に1人という基本理念をもとにした、より優れた維新の改正案を本会議場で訴えました。しかし多数とならず否決された結果、田尻町・泉南市・阪南市・岬町の合区で、議員定数が1人となりました。

※人口と定数が一部の選挙区間において逆転現象が生じていたため、やむなく削減をしたもの。



「強い大阪」の実現を目指して **大阪は動き出しています**

大阪維新大阪府議会議員団

次代をみすえて、防災力向上、成長戦略、雇用促進

大阪府議会5月定例会

可決・成立した主な議案

OTK株式売却

泉北高速鉄道やトラックターミナル(東大阪・茨木)を運営する第3セクターOTKの株式について、南海電気鉄道株式会社と子会社・関連会社の7社に750億円で売却する議案が可決されました。

府はこのうち367億5000万円を取得し、今後、広域インフラ整備等の大阪府施策に活用されます。

補正予算案 [2億3900万円]

- 大阪・光の饗宴 (御堂筋イルミネーション)
- 大坂の陣400年プロジェクトの推進
- 水都大阪の水辺活性化事業
- 被災農業者向け経営体育成支援事業



大阪維新府議団の港湾改革プロジェクトチーム

港湾管理の一元化により国際競争力の強化をめざす!

港湾改革PT(森 和臣(かずとみ)PT長)は、港湾管理の一元化により、港湾の国際競争力の低下に歯止めをかけ、利用者ニーズに応じたより使いやすい港の実現を目的に、自治体から独立し、機動的に意思決定ができる「新港務局」の設置に取り組んできました。

しかし、港湾法等の法改正が進まないため「大阪府・大阪市の港湾管理機能共同委員会設置」に関する提言を知事・市長に行ってきました。

その結果、来春にも府管理の堺泉北港、阪南港と市管理の大阪港を対象に、管理業務を一元化する条例案を今秋の府市の各議会に提出されることになりました。



府議会で統一会派を結成し **代表に青野剛暁議員が就任**

5月1日、大阪維新の会大阪府議会議員団(50人)は、みんなの党府民会議(1人)と、統一会派を結成し、代表に青野剛暁議員を選任しました。